

長崎県看護協会 会報

発行所 公益社団法人 長崎県看護協会
〒854-0072 長崎県諫早市永昌町23番6号
TEL (0957)49-8050(代) FAX(0957)49-8056
発行責任者 西村伊知恵
印刷 株式会社インテックス



Nagasaki Nursing Association

令和4年度 会長あいさつ	2	地区支部だより	6~7
令和4年度 三職能委員会活動計画	3	ホームページ紹介	8
令和3年度 災害看護委員会活動報告	4~5		



長崎県看護協会

“もっと”ホームページを
活用しよう!!





あいさつ

公益社団法人 長崎県看護協会
会長 西村伊知恵

今年1月13日、長崎県の新型コロナウイルス感染者数が3ケタになり、長崎県の感染レベルも2-1に引き上げられました。オミクロン株の感染力の強さは驚異的で、現在も感染者数は高止まりの状況で推移しています。

会員のみなさまにおかれましては、心身ともに大きな負担を抱えながら、それぞれの職場で一丸となって毎日の業務を遂行していただいていることに、こころから感謝申し上げます。また、クラスターが発生した施設への看護職員の派遣、ワクチン接種への従事など地域からの要請にも対応していただき、そのことに対しても感謝します。

看護職員への期待が高まるなか、皆さますでにご存じのように看護職員の処遇改善の動きも始まっています。会員のみなさまが安心して働き続けられる環境にするために今をチャンスととらえ、日本看護協会と連携しながら方向性を同じくして取り組んでいきたいと考えます。

長崎県看護協会は、令和4年度の重点目標を、以下3点とし、事業を展開します。

1. 地域包括ケアを支える看護の役割推進
2. 健康で安全に働き続けられる職場づくりの推進
3. 質の高い看護実践を支える生涯学習の推進

また、令和2年度に設置した「長崎県看護協会あり方検討委員会」から報告書が提出されることを受け具体的な動きにつながるよう進みたいと思います。

会員のみなさま方におかれましては、引き続き、長崎県看護協会活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

令和4年度 **三職能** 委員会活動計画

保健師職能委員会

保健師職能委員長 市川 ひとみ



保健師は、行政、産業分野、医療分野等と幅広い分野で活躍しており、保健師職能委員会は、委員長以下県、市町、企業、総合病院、健康事業団の8人の委員で構成されています。毎月1回の委員会は、働く組織の違う委員が、保健師が取り組むべき健康課題について情報共有し、一緒に解決に向けた取り組みを考えていく場となっています。新型コロナウイルス感染症の感染拡大により保健所は患者発生に伴う業務、市町はワクチン接種業務、事業所では従業員の感染予防対策等保健師の働く現場でも従来の業務に加え、大変な状況となっており、委員会も出席者が減るなど影響を受けています。令和3年度は感染拡大の状況を見ながら集合型に加え、オンライン、ハイブリット方式など工

夫して会議や交流会・研修会を開催しました。令和4年度は、地域の看護職間の連携を目指し、3年度に引き続き「コロナ禍における地域包括ケアシステムの現状と課題」をテーマにした交流集会や異なる分野で働く保健師の各団体のネットワーク強化と共通する課題への取組を目的にした「保健師ネットワーク会議」を計画しています。また、令和2年度から始めた新任保健師研修会・交流会は、新任保健師の抱える悩みの共有や貴重な交流の機会となったことから継続して実施予定です。令和4年度の活動計画の詳細が決まりましたら、協会だより等でお知らせいたしますので、皆様のご参加をお待ちしております。

助産師職能委員会

助産師職能委員長 大町 いづみ



助産師職能委員会は、病院、教育分野に勤務する委員8名で活動しています。

助産師は「母子のみならず、女性の生涯における性と生殖にかかわる健康相談や教育活動を通して家族や地域社会に広く貢献する。その活動は、育児やウイメンズヘルスケア活動を包含する。助産師は、病院、診療所、助産所、市町村保健センター、自宅、教育、研究機関、行政機関、母子福祉施設その他の助産業務を必要とするサービスの場で業務を行うことができる」助産師の声明・綱領 | 公益社団法人日本助産師会 (midwife.or.jp) としています。

本年度、助産師職能委員会では、上記能力のさらなる向上と情報発信のために、医療施設、地域での母子

保健活動の実施と支援体制構築に向け、以下の内容の研修会等を計画しています。

1. CloCMiPレベルⅢ認定研修1講座(オンライン研修)「母体急変時の初期対応」
2. 助産師の新人交流会(卒後1~5年の助産師)
3. 国際助産師の日イベント(みらい長崎ココウォーク イベント会場での地域住民を対象とした母子保健活動)
4. 性教育セミナーの開催(県内小学校、中学校、高校、里親育成センター)
内容の詳細については、随時お知らせします。
皆様のご参加をお待ちしています。

看護師職能委員会

看護師職能委員長 横山 藤美



看護師職能委員会は、I(病院領域)・II(介護・福祉関係施設・在宅領域)からなる委員13名で活動しています。

全世代型地域包括ケアシステム、地域共生社会の実現が急がれる中、看護職は、効率的かつ質の高い医療・看護を提供する上で、重要な役割を担っています。今年度は、高齢者の医療需要の増加に伴い在宅療養支援の中心的役割を担う外来看護師の役割を学ぶ研修会、「病める人・死にゆく人に何が出来るか」というテーマで寄り添う看護を学ぶ研修会を企画しています。また、昨年度にIIで実施した「看護師の特定行為に関わる研修制度の周知・普及」の実態調査結果報告と、在宅で活躍されている特定行為研修修了者の活

動を知り、医療的判断および看護職の裁量権を拡大でき、人々の安全で安心した療養生活を支える看護師の育成を目的とした交流会を開催します。さらに、昨年度にIで実施した「病院における身体拘束の現状」の実態調査結果報告と看護部全体で取り組みを開始している病院から講師を招き、ケアを見直す際に、できないではなくできるためにはどうしていくのかを考える研修会を行います。

三職能交流会では「新型コロナウイルス感染症への取り組み(仮)」を行政の立場より講話いただく予定です。

看護職としての自分磨きができる研修会・交流会です。ご参加ください。

令和3年度 災害看

📅 2021年10月2日(土)

災害支援ナース育成研修(実務編) Zoom配信

参加者:52名

講義内容

- ・長崎県における災害時看護支援活動
(県福祉保健部医療政策課 馬郡正昌氏)
- ・長崎県看護協会における災害支援ナースの登録および
役割・過去の活動
(長崎県看護協会 荻野智子氏)
- ・災害支援ナースの活動の実際
(春回会 井上病院 災害支援ナース 山川穂波氏)

状況設定:南島原市口之津町にて土砂崩れが発生
口加高校避難所に3泊4日で派遣

演習内容:以下の状況に沿ってグループワーク

- 状況 1 災害発生
- 2 派遣決定
 - 3 活動場所へ到着
 - 4 活動中に新たな支援を依頼
 - 5 支援ニーズが減少し活動を終了

研修後アンケートの結果

- ・災害支援にもコロナ対策が必須なので感染予防にも再度研鑽したい
- ・災害支援ナースの活動をイメージすることができた。
- ・グループワークも多く、研修に参加しているという実感があった。
- ・オンライン受講はグループの方とのコミュニケーションをとりやすかったのでよかった。



令和3年度災害看護研修報告

開催日時	研修会名
9/1~9/2	災害支援ナース育成研修～基礎編～
	参加者:18名
10/2	災害支援ナース育成研修～実務編～
	参加者:52名
12/4	災害支援ナース交流会
	参加者:28名

災害支援ナース 登録募集中

長崎県看護協会からは、熊本地震には14名の支援ナースを派遣いたしました。その後徐々に災害支援ナース登録人数も増加し、現在84名(令和4年1月時点)となっております。長崎県看護協会としての目標は120名目標に近づけるように活動しています。

護委員会 活動報告



2021年12月4日(土)

災害支援ナース交流会 Zoom配信

「災害支援ナースとしての準備はできていますか」をテーマとして開催しました。

*参加者:28名

- 1 熊本地震支援活動報告
長崎みなとメディカルセンター
災害支援ナース 井本真由美氏
- 2 長崎県の災害対策の取り組み
長崎県保健監 佐々木多佳子氏
- 3 避難所運営の知識を高めよう
鹿児島大学客員研究員 今村圭子氏
- 4 避難所運営ゲーム:HUG
- 5 防災ゲーム:クロスロード紹介実演
- 6 ズーム参加者との交流風景



*参加者からの声

- ・実体験を元にした具体的な話が多く、実際の場面をイメージしながら考えることができました。
- ・災害が起きたときに、自分にできることに限りがあるかもしれませんが、1つでも現地での活動に役立てればと思います。
- ・ゲームが面白かったです。またぜひ参加したいと思いました。



取材後記

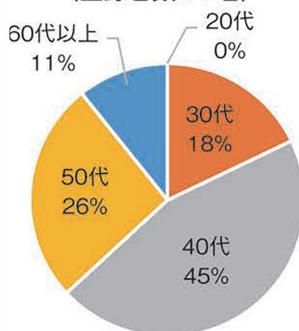
やや敷居の高い印象を持ちがちな被災地支援ですが、普段皆さんが患者さんに提供している知識や看護を活かせる場面が沢山あると思いました。避難所運営ゲームHUGも実際の活動をイメージできる演習でした。登録者の皆さんの各職場での活躍が、今後の登録者数の増加に繋がればと期待しています。

堀田

長崎県看護協会災害支援ナース登録状況



令和3年度
災害支援ナース年代別
(登録者数84名)



災害支援ナース 交流会開催の お知らせ

開催日時:5月28日(土)
13:00~16:30
受講料:会員 無料、
非会員 500円
テーマ:防災ゲームを通して
学ぶ初めての災害看護
災害支援ナースに登録をして
いない方でも参加可能です。
皆さんお気軽にお申込み
下さい。

地区支部だより



各支部の活動やお知らせをお届けします。



県南支部

支部長 増田 千代子

初々しい新入職員の方々を迎え、希望に満ちあふれるその姿に輝かしい春を感じるこの頃です。とはいえ、2022年はCOVID-19の爆発的な感染拡大から始まりました。まだまだ先が見えない中、最前線で対応されている皆様方に感謝と敬意を表します。

支部事業は2021年度もオンラインでの開催とし、予定していた事業をほぼ開催することができました。これもひとえに会員の皆様方、また各委員の皆さん方のご理解とご協力のおかげです。感謝申し上げます。今年は、「ふれあい看護体験」もオンラインで開催することができました。内容は「看護への道」「在宅での看取りを経験して」「事前質問」等とし、14校計76名に参加して頂きました。第2回看看連携交流会は「ACP」をテーマとし計14名に参加して頂きました。第2回施設代表者交流会は第6波の感染状況を鑑み、やむなく中止といたしました。

2022年度も看護協会の重点目標達成に向けて、オンラインを駆使しながら事業運営に邁進していきたいと思っております。



県央支部

支部長 中尾 理恵子

新年度を迎えました。コロナウイルス感染症の始まりから足掛け3年目となりました。看護職の現場で働いて頂いている方に心から感謝申し上げます。

1/15リモートにて「リスクマネージャー交流会」を開催し、29名の参加がありました。テーマ「内服薬の自己管理について」として2施設の安全管理責任者から発表していただき、その後「薬剤自己管理チェックシート」の問題点等についてGWを実施しました。急性期病棟勤務や長期入院病棟、施設の方の参加がありました。退院後は多くが施設へ転所という施設も多く「内服薬管理の基本的問題」等について他施設との情報交換が出来、有意義だったとの意見でした。3/5の「看護研究発表会」もリモート開催としました。

参加者は委員等も含め94名で今回初めて投稿された施設もありました。「マスク」や「災害対応」等、今の現状に即した研究がなされており他の施設にも生かせる内容でした。コロナ禍の中で看護研究に取り組んでいただき有難うございました。今後も地域の人々の安全、安心な暮らしを守るべく、看護の質向上と県央支部内の連携（訪問看護師、クリニック看護師、保健師）を一層深めていきたいと思っております。ご理解ご協力をお願い致します。



県北支部

支部長 山崎 純子

県北支部では、コロナ禍でイベント活動ができない状況ですが、工夫をして活動を行いました。「ふれあい看護体験」の代替として、先輩看護師へのインタビュー、看護協会のホームページ紹介、県内看護系大学や佐世保市内看護専門学校情報を掲載したパンフレットを作成し、県北地区の高等学校20校に配布しました。また、オンラインによる研修を企画し、予定していた4つの研修を開催しました。グループワークなどの課題もありますが、今後検討していきたいと思っております。10月には感染対策を徹底し、「コロナ禍における訪問看護の現状について」というテーマで訪問看護ステーションくりや 森亜砂子先生を講師に迎え、施設交流会を開催しました。24名の参加があり、厳しい現状の中で在宅療養者に安全に訪問看護が提供されており、看護の素晴らしさを実感した交流会でした。現在は、2年間開催できなかった県北支部報告会に向け、オンラインで開催できるように準備を進めております。





下五島支部

支部長 眞弓 陽子

暖かな春の日差しがなにより嬉しい季節となりました。各施設・病院では新人スタッフの育成が始まったところだと思います。コロナ禍の中であり、人材不足ではありますが、新しい芽を摘んでしまわないよう新人育成に努めてまいりたいと思います。

コロナ禍の中で協会活動がほとんどできない状況であります。2月に予定しておりました五島市椿マラソンも中止となり、予定していた協会活動も中止となり残念です。

今年度はWEB研修が主になると思います。できる限りではありますが、学生の体験学習・地域のイベントで協会活動が少しでも出来たらと思っております。まずは5月の看護の日イベントを今年こそは開催できたらと願っております。一日も早いコロナ終息を願っております。



上五島支部

支部長 頭島 利江子

令和4年も3か月が終わり、新たな年度の始まりです。

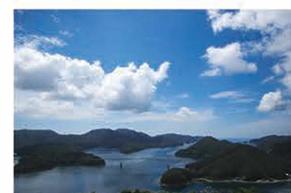
1年の中で、気持ちを新たにすることが何度かあります。4月になり上五島支部も新たな気持ちで活動を行います。

あらゆる感染症に対して予防対策を行い、活動の範囲を広げていきたいと考えております。

●研修報告

令和4年1月15日(土)緩和ケア認定看護師 前川妃史先生により「緩和ケアにおける終末期のあり方～コロナ禍の緩和ケアを考える～」というテーマで研修会を開催しました。事例紹介もありとてもわかりやすい講義内容でした。

COVID-19時代の緩和ケアについて、コミュニケーションスキルの重要性を再認識しました。



壱岐支部

支部長 鋸崎 くみ子

穏やかな日差しで過ごしやすい季節となりました。新年度が始まり、部署異動や新規職員の迎え入れで、期待と不安・ほど良い緊張感を持ちながら業務に従事されていることでしょう。壱岐は、3月には高校を卒業した学生たちのほとんどが、進学や就職のために島から巣立っていきました。益々人口減少と高齢化が進む中、本年度の重点目標にもあるように、医療と介護が切れ目なく提供できる暮らしやすい島を目指し活動して参ります。コロナ禍も3年目に入りましたが、次々に新たな変異株が発生し、中々収束が見えません。しかし悪い事ばかりではなく、Zoom研修が増えたことで、離島としては参加しやすくなり活用させていただいています。壱岐支部でも今年こそは『まちの保健室の開催』を目指し、また皆様が興味を持ってそんな研修を企画しておりますので、多数の参加をお待ちしております。



対馬支部

支部長 山田 久美子

今年度も宜しくお願ひします。

令和4年3月5日(土)、令和3年度の看護研究発表会・研修会を開催しました。今回は、対馬市交流センター大会議室(200名収容)に、37名が参加しました。上対馬病院と対馬病院から4演題を発表し、診療看護師・クリティカルケア認定看護師の庄山由美先生をお招きし、研究の講評をして頂きました。また、「研究テーマの選定と研究計画書の書き方」をテーマに研修会を行いました。

看護研究に苦手意識を持つ人が多い中、大変わかりやすくテーマ選定から文献検索、研究計画書の書き方まで学べ、やってみようという前向きな気持ちになったと好評でした。



長崎県看護協会ホームページに アクセスしてみよう

このページへのアクセスは「長崎県看護協会」を **検索**





公益社団法人 **長崎県看護協会**
Nagasaki Nursing Association

MENU

お問い合わせ
アクセスマップ
サイトマップ

長崎県看護協会 会長からのメッセージ

平素より本協会へのご理解・ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。
オミクロン株の影響で、長崎県内の新型コロナウイルスの感染拡大が爆発的に増えています。
クラスターもあちこちで発生し、会員施設の皆様のことを案じております。
皆様方の施設は大丈夫でしょうか。
相談ごとやご意見等、何かございましたら、落ち着かれてからでも結構です。
ので、ご一報いただければ幸いです。

長崎県看護協会 会長 西村伊知恵
Tel : 0957-49-8050 Fax : 0957-49-8056
E-mail : nishimura@nagasaki-nurse.or.jp

ホーム
代表電話
ページトップ

・電話等による
お問い合わせ
・メールフォーム
からのお問い合わせ

・協会のごあんない
・活動内容
・協会からのお知らせ
・会報、協会だより
・研修センター
など…

画面を下へスクロールしていくと…



◆ お知らせ

イへ 協会より 教育研修情報

最新研修情報 国民のみなさまへ

2022年2月21日 協会より
令和4年度長崎県看護協会看護研究助成金応募について

2022年2月18日 協会より
長崎県看護キャリア支援センター 看護職員募集

2022年2月16日 協会より
協会だより：「協会だよりNo.246」を公開しました。

2022年2月16日 協会より
医療安全情報：「安全管理委員会からの耳より情報」を更新しました。

2022年2月16日 協会より
情報公開：「理事会報告」を更新しました。

2022年2月8日 協会より

画面を下へスクロールしていくと…



長崎県 訪問看護サポートセンター

長崎県 看護キャリア支援センター

ナースセンター

看護師等の届出サイト とどけるん

キャリアナース

ナースシップ 施設用WEB 当協会の専用ページ

< 御意見募集中 >



お問い合わせ用QRコード

看護協会あるいは会報誌への御意見・御要望をお気軽にお寄せ下さい!!

お問い合わせ

- ① QRコードを読み込む
- ② 必要事項とお問い合わせ内容を記載
- ③ 確認画面をクリック

